

岸和田市図書館のありかた（概要版）

趣旨

市制施行100周年を新図書館整備のキックオフの年と位置づけ、市民参画の取り組みや、市民意見を踏まえながら、これからの図書館の役割と、ソフト・ハード整備の方向性を示す。

図書館の現状

- ・登録者数・貸出冊数は減少傾向、蔵書数も頭打ち
- ・図書館利用の中心は「子ども」と「子育て世代」

図書館の課題

- ・本館の老朽化・狭隘化、バリアフリー等への対応
- ・市民ニーズの変化への対応（貸出中心から滞在型へ）
- ・ICT化への対応
- ・本館、分館、自動車文庫の役割分担
- ・学校との連携強化
- ・司書職員の専門性・経験の継承

基本理念

人と人、情報がつながる「知」の拠点～よりあい、つながる、本の城～

具現化するための8つの指針

①市民の自己実現、課題解決に役立つ図書館

②未来を担う子どもたちの成長を支える図書館

③地域資料の保存と活用を図り、地域づくりを支える図書館

④ネットワークの中核となる図書館

⑤インクルーシブ社会に対応した図書館

⑥DXによる便利な図書館

⑦学び・出会い・つながりの場を創出する図書館

⑧オープンに、市民と一緒に作る図書館

新図書館（本館）整備に向けた検討

- ・まちの賑わいづくりに寄与し、財政負担を軽減する施設の複合化
- ・公民連携によるPPPやPFI等を活用した施設整備
- ・サービスの向上、機能の充実とコスト軽減のための管理運営
- ・立地場所
市内各所からのアクセスが容易なこと、他施設との複合化・併設が見込めること
まちの賑わいづくり・魅力向上につながること、土地の確保が確実に見込めること